

地方創生関連交付金事業の効果検証について

1 あかしSDGs前期戦略計画（明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期））（2022～2025年度）の概要

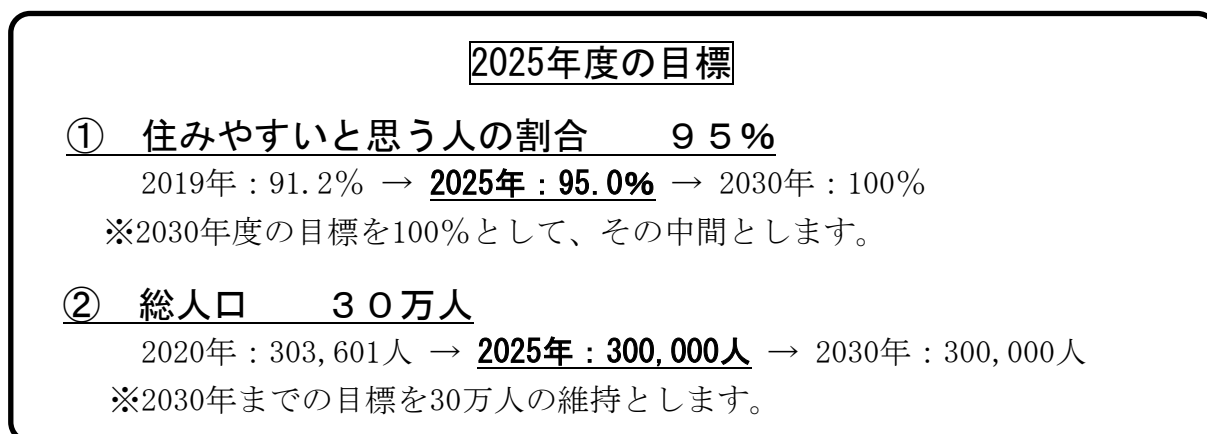
(1) 位置づけ

あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）に基づき2030年のあるべき姿「SDGs未来安心都市・明石」の実現に向けたまちづくりの戦略を定める中期計画です。また、明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）を兼ねています。

(2) 2030年のあるべき姿



(3) まちづくりの数値目標



(4) 施策展開の5つの柱

- 柱1 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める
- 柱2 笑顔あふれる共生社会をつくる
- 柱3 こどもの育ちをまちのみんなで支える
- 柱4 安全・安心を支える生活基盤を強化する
- 柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

2 交付金の概要

(1) デジタル田園都市国家構想※交付金（地方創生推進タイプ）

目的	地方版総合戦略に基づいて地方公共団体が自主的・主体的に行う、観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援する。
対象	地方版総合戦略に基づき、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業（主にソフト事業）
負担率	国1/2 市1/2

※デジタル田園都市国家構想とは、デジタルの力で、地域の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図り、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す構想。

(2) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）

目的	地方版総合戦略に基づいて地方公共団体が自主的・主体的に行う、観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援する。
対象	地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う、地方創生に資する拠点施設の整備及び当該施設と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業（主にハード事業）
負担率	国1/2 市1/2

3 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

（2023年度（令和5年度）の効果検証）

事業名	地域資源「明石のたからもの」を活用した魅力と賑わいの向上																																
主管課	政策局シティセールス課、政策局天文科学館、政策局産官学共創課、環境産業局豊かな海づくり課、都市局海岸・治水課																																
総合戦略5つの柱	柱1 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める 柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す																																
事業目的	時のまち・明石として天文科学館の魅力を高めるとともに、海のまち・魚のまち明石のPR・イベントを実施し、あわせて豊かで安全な海づくりを進めることで、関係人口・交流人口の増加を図り、ひいては定住人口の維持・拡大へつなげる。																																
事業内容 (2023年度)	<p>①地域資源「明石のたからもの」の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかなクンの明石たこ大使就任10周年記念イベントとして「おさかな教室」を開催し、海のまち明石・魚のまち明石のPRを行った。 ・あかしの子育て支援施策や住環境について、パンフレットを配布したほか、ホームページやSNSを活用した情報発信を行った。 <p>②天文科学館の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム100周年記念事業として、天体ショーの動画配信やオンラインイベント、全国のプラネタリウム関係施設を結んだイベントを行った。 ・ミュージアムショップを移設、リニューアルし、従来の商品に加え、100周年記念オリジナルグッズや明石限定のスイーツなどを販売した。 ・太陽望遠鏡を購入し、設備の充実を図った。 <p>③豊かで安全な海づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダコの資源量確保に向けた施肥*や産卵用タコつぼの投入とその効果測定のためのモニタリング調査を行った。 *施肥：海に肥料を撒き、プランクトンのエサとなる窒素やリンを増やす取組。 ・稼働率の低い大蔵海岸西駐車場の一部に民間商業施設を誘致するため、土地の利活用に向けた事業者ニーズ調査を行い、プロポーザル方式による事業者公募を行った。 ・水上バイクの進入を防ぐためのフロート及び啓発看板を設置した。 																																
事業費 (千円)	<table border="1" data-bbox="368 1554 1374 1816"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1年目 (2023)</th> <th>2年目 (2024)</th> <th>3年目 (2025)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td>交付決定額</td> <td>37,728</td> <td>65,952</td> <td>55,983</td> <td>159,663</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>37,721</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">交付額</td> <td>交付決定額</td> <td>18,864</td> <td>32,976</td> <td>27,992</td> <td></td> </tr> <tr> <td>確定額</td> <td>18,861</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><2023年度事業費内訳（主なもの）></p> <p>① 地域資源「明石のたからもの」の情報発信 3,109千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のまち・魚のまち明石PR（委託料）2,610千円 ・地域資源などにちなむデジタルスタンプラリーの実施（使用料）110千円 ・LINE等SNSやインフルエンサーを活用した情報発信（使用料）177千円 ・子育て支援施策や住環境等の情報提供（委託料）212千円 							1年目 (2023)	2年目 (2024)	3年目 (2025)	合計	事業費	交付決定額	37,728	65,952	55,983	159,663	実績額	37,721				交付額	交付決定額	18,864	32,976	27,992		確定額	18,861			
		1年目 (2023)	2年目 (2024)	3年目 (2025)	合計																												
事業費	交付決定額	37,728	65,952	55,983	159,663																												
	実績額	37,721																															
交付額	交付決定額	18,864	32,976	27,992																													
	確定額	18,861																															


	<p>② 天文科学館の魅力向上 5,369 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム 100 周年事業の実施及び PR (報償費) 4,840 千円 ・グッズ販売コーナー、太陽望遠鏡の整備 (備品購入費) 529 千円 <p>③ 豊かで安全な海づくり 29,243 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産卵用タコつぼや施肥の投入とモニタリング調査の実施 (委託料) 10,000 千円 ・沖合の栄養塩類分布調査の実施 (委託料) 4,378 千円 ・大蔵海岸西駐車場への民間商業施設誘致のための調査 (委託料) 1,980 千円 ・水上バイク進入防止フロート、啓発看板の設置 (工事費) 12,885 千円 																												
<p>重要業績 評価指標 (KPI)</p>	<p>①観光入込客数 (2020 年度 : 480 万人)</p> <p>②天文科学館入館者数 (2022 年度 : 9 万人)</p> <p>③マダコの漁獲量 (2022 年度 : 130 t)</p>																												
<p>実績値</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(参考) 申請時点</th> <th>1 年目 (2023)</th> <th>2 年目 (2024)</th> <th>3 年目 (2025)</th> <th>目標値 (2025)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K P I ①</td> <td>4,800,000</td> <td>5,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>5,100,000</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K P I ②</td> <td>90,000</td> <td>117,452</td> <td></td> <td></td> <td>125,000</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K P I ③</td> <td>130</td> <td>207</td> <td></td> <td></td> <td>1,000</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		(参考) 申請時点	1 年目 (2023)	2 年目 (2024)	3 年目 (2025)	目標値 (2025)	結果	K P I ①	4,800,000	5,000,000			5,100,000	-	K P I ②	90,000	117,452			125,000	-	K P I ③	130	207			1,000	-
	(参考) 申請時点	1 年目 (2023)	2 年目 (2024)	3 年目 (2025)	目標値 (2025)	結果																							
K P I ①	4,800,000	5,000,000			5,100,000	-																							
K P I ②	90,000	117,452			125,000	-																							
K P I ③	130	207			1,000	-																							
<p>実績値の 増減理由</p>	<p>K P I ① : 観光入込客数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫デスティネーションキャンペーン等、インバウンド需要による観光客数が増加した。 <p>K P I ② : 天文科学館入館者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム 100 周年記念事業として全国一斉の記念イベントの実施やオリジナルグッズの販売等を行ったことで、入館者数が増加した。 <p>K P I ③ : マダコの漁獲量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組を行っているが、海の栄養塩類*の低下に伴う基礎生産力の低迷が大きく、効果が出るには時間がかかる。 ※栄養塩類 : 窒素やリン等、海水中に溶け込んでいる物質。海ではプランクトンやノリなど生き物の成長に必要である。 																												
<p>事業効果</p>	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿日本一のプラネタリウムの現役稼働や国際的にも珍しい子午線上に立つ施設であること、オリジナルキャラクターが絶大な人気を集めていることなど、施設の魅力を高める種々の特色ある取組が評価され、2023 年度には天文科学館が「第 4 回日本博物館協会賞」*を受賞した。 ※博物館の振興に大きく貢献し、他の博物館の模範となる顕著な成果を挙げていると認められた施設に、公益財団法人日本博物館協会から贈られる顕彰。 ・兵庫デスティネーションキャンペーンでの地域資源の発信やプラネタリウム 100 周年記念事業を行うことで交流人口・関係人口の増加につながった。 ・栄養塩類の増加など、長期的な視点から資源回復に向けた取組を継続的に実施する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①・②については、記念イベントを契機として、地域資源や地域の魅力発信を積極的に行う。 ・③のマダコの資源量確保について、引き続き施肥の投入など栄養塩類環境の改善に向けた取組を行う。 ・③の大蔵海岸エリアの利活用について、プロポーザル方式による公募を行ったが、応募者がなかったため、2024 年度より事業者からの相談・提案を随時受け付けている。大蔵海岸の更なる賑わいの創出に向けて、西駐車場以外の場所も含め、引き続き大蔵海岸エリア全体の利活用を検討していく。 																												

<p>外部有識者 (あかしSDGs推進審議会委員) の評価</p>	<p>1 評価 (該当する番号に○)</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効とはいえなかった</p> <p>2 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべてのKPIが目標に向かって向上しているのは素晴らしいことである。 ・県や他の事業者と連携した企画を実施することで、広報効果が上がり、観光客の誘致や関係人口の増加につながっていると考えられる。 ・オンラインイベントや動画の配信など、デジタル技術を活用することで、県外の方に対しても広く明石の魅力をPRできている。 ・引き続き積極的な情報発信や利用客に向けた注意喚起の啓発等を行い、安全安心な魅力ある海岸づくりを進めていただきたい。 ・マダコの漁獲量は気候の影響が大きいですが、持続可能で豊かな海づくりに向けて、栄養塩類環境の改善、資源量の保全・回復に引き続き取り組んでいただきたい。
---	--

4 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）


（2023年度（令和5年度）の効果検証）

(1) 2018年度（平成30年）交付決定事業

事業名	あさぎり・おおくら総合支援センター整備計画									
主管課	福祉局地域共生社会室									
総合戦略 5つの柱	柱2 笑顔あふれる共生社会をつくる									
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを進め、転入、定住を促進するため、市内全体の高齢化率を上回り、老朽化したニュータウンの広がる朝霧・大蔵中学校区に、高齢者や障害者、こどもを含め総合的・包括的な相談対応、地域支援の拠点となる総合支援センターを整備する。 ・本事業を行うことで、「自助」そして「共助」を促進し、「自助・共助・公助」のバランスを適正にし、転入者や長年住んでいる住民、世代や障害の有無に関係なく、地域で交流し安心して住み続けられる持続可能な地域社会を実現する。 ・地域で活動する多様な主体と連携しながら、地域資源の開発、若年層の定着による人口構成の安定化や転出者抑制への取組により、定住人口の増加を図る。 									
施設概要	<p>あさぎり・おおくら総合支援センター</p> <p>(1) 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①位置／明石市松が丘5丁目7番22号 ②敷地面積／約3,300㎡ ③階数／地上1階 ④延床面積／約600㎡ <p>(2) 施設の主な機能</p> <p>施設が整備されることにより、来所者に配慮した相談環境の充実に加えて、新たに設ける交流・活動スペースを活用した住民主体の多様な支え合い体制の構築等、地域共生社会づくりの推進を図る。</p> <table border="1" data-bbox="395 1328 1396 1724"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合的・包括的支援機能</td> <td>○事務室／約80㎡（センター職員16名） ○相談室／約10㎡×2部屋</td> </tr> <tr> <td>地域住民の交流拠点機能</td> <td>○研修室／約100㎡×3部屋 地域ケア会議等により、地域住民が参画し地域課題を検討するなど、地域づくりを推進するためのネットワークを構築</td> </tr> <tr> <td>市民活動等の拠点機能</td> <td>○会議室／約40㎡ 市民活動団体やボランティア団体が利用、活動を支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 開所年月日 2020年4月1日（水）</p>	機能	内容	総合的・包括的支援機能	○事務室／約80㎡（センター職員16名） ○相談室／約10㎡×2部屋	地域住民の交流拠点機能	○研修室／約100㎡×3部屋 地域ケア会議等により、地域住民が参画し地域課題を検討するなど、地域づくりを推進するためのネットワークを構築	市民活動等の拠点機能	○会議室／約40㎡ 市民活動団体やボランティア団体が利用、活動を支援	
機能	内容									
総合的・包括的支援機能	○事務室／約80㎡（センター職員16名） ○相談室／約10㎡×2部屋									
地域住民の交流拠点機能	○研修室／約100㎡×3部屋 地域ケア会議等により、地域住民が参画し地域課題を検討するなど、地域づくりを推進するためのネットワークを構築									
市民活動等の拠点機能	○会議室／約40㎡ 市民活動団体やボランティア団体が利用、活動を支援									
事業内容 (2023年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに配置された生活支援コーディネーターが中心となり、地域住民と協働しながら、住民同士が支え合う地域づくりのための啓発や担い手の養成、通いの場づくり等に引き続き取り組むとともに、住民主体の地域の通いの場や交流できる居場所の運営を支援した。 									

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の閉じこもりによる身体機能等の低下防止やコミュニティの活性化に向け、住民が主体となって行う地域活動へ助言するなどの支援を行った。 ・地域住民からの相談対応を継続するとともに、対面式以外の相談方法の周知に努めた。 																																
事業費	2019年度（整備費）：実績額 257,733千円 うち交付金額 86,644千円																																
重要業績評価指標（KPI）	①施設利用人数【予約利用】（2023年度:4,750人） ②朝霧、大蔵中学校区での住民主体による通いの場（自主グループ（体操）、認知症カフェ、サロンなど）の数（2023年度:72箇所） ③あさぎり・おおくら総合支援センターの相談件数（2023年度:4,662件）																																
実績値	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(参考)開始前</th> <th>1年目(2019)</th> <th>2年目(2020)</th> <th>3年目(2021)</th> <th>4年目(2022)</th> <th>5年目(2023)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KPI①</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4,244</td> <td>9,301</td> <td>8,156</td> <td>8,831</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>KPI②</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>56</td> <td>63</td> <td>53</td> <td>63</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>KPI③</td> <td>4,262</td> <td>-</td> <td>8,296</td> <td>7,320</td> <td>6,722</td> <td>7,995</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2020年4月に開設したため、KPIは2年目（2020年度）から計上。</p>		(参考)開始前	1年目(2019)	2年目(2020)	3年目(2021)	4年目(2022)	5年目(2023)	結果	KPI①	-	-	4,244	9,301	8,156	8,831	達成	KPI②	55	-	56	63	53	63	未達成	KPI③	4,262	-	8,296	7,320	6,722	7,995	達成
	(参考)開始前	1年目(2019)	2年目(2020)	3年目(2021)	4年目(2022)	5年目(2023)	結果																										
KPI①	-	-	4,244	9,301	8,156	8,831	達成																										
KPI②	55	-	56	63	53	63	未達成																										
KPI③	4,262	-	8,296	7,320	6,722	7,995	達成																										
実績値の増減理由	KPI①：施設利用人数【予約利用】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民活動の活発化や情報の発信等により、属性によらず誰でも利用できる場として認知されてきている。 KPI②：朝霧、大蔵中学校区での住民主体による通いの場（自主グループ（体操）、認知症カフェ、サロンなど）の数 <ul style="list-style-type: none"> ・住民活動やサロン活動等の活発化が、通いの場の数の増加につながった。 KPI③：あさぎり・おおくら総合支援センターの相談件数 <ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇等による生活の困りごとについての相談が増加した。 																																
事業効果	【事業を実施した効果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により当初の想定とは異なるところもあったが、地域住民による支え合いと公的支援とが連動して、総合的・包括的に支える体制の拠点となっている。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の活動やサロン活動など、通いの場を充実させるとともに、積極的な情報発信を行うことで、地域住民の参加を促進していく。 ・子どもも大人も誰もが安心して暮らせる地域づくりの拠点となるように、ソフト面の取組をより充実させていく。 																																
外部有識者（あかしSDGs推進審議会委員）の評価	1 評価（該当する番号に○） ① 本事業は、地方創生のために有効であった ② 本事業は、地方創生のために有効とはいえなかった 2 意見 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の困りごとについての相談が多いことから、地域の方に身近な相談場所として認識され、施設が有効活用されていると考えられる。 ・住民主体の地域活動の場である通いの場が拡充され、住民活動が活発になることはセンターの活性化につながり、住民が地域に愛着を持つことにもつながると考えられる。KPIは一部未達成であるので、ハード面だけでなく、ソフト面での取組や支援を引き続き進めていただきたい。 																																

(2) 2020年度（令和2年度）交付決定事業

事業名	(仮称)文化財収蔵庫整備事業							
主管課	市民生活局文化・スポーツ室							
総合戦略 5つの柱	柱5 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す							
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財収蔵庫を設置し、旧図書館などに分散して保管している埋蔵文化財の出土資料について、適切に保存し、地域の歴史に触れ、啓発できる資料とするとともに、長年にわたり市内で収集してきた工芸品、古文書、土器等の特色ある歴史資料を保存・活用することで、未来を担う子どもたちが明石の歴史や文化を学び、また、歴史資料を介して地域の専門家等と交流するなど地域の人を知る「ふるさと教育」を実践することで、地域に対する誇りと郷土愛の醸成及び未来を担う次世代の育成を図る。 ・地域で長年にわたり育まれてきた生業・生活文化について、幅広い世代が再認識し、地域の未来の在り方を皆で支える場の提供をセットで実施することにより、自らの地域をよく知り、将来的なUターンや地域の将来を考える人材確保につなげ、若者の地元離れ及び東京圏への転出に歯止めをかける。 							
施設概要	<p>魚住文化財収蔵庫</p> <p>(1) 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①位置／明石市魚住町西岡鴨台 2119 番地の 23 ②敷地面積／約 2,711 m² ③階数／地上 1 階 ④延床面積／約 1,386 m² <p>(2) 施設の主な機能</p> <p>施設が整備されることにより、地域や地域の人を知る「ふるさと教育」の実践により、地域で活躍する様々な人と広く交流を持ち、互いに協力する機会を提供するとともに、地域に対する誇りと郷土愛の醸成及び未来を担う次世代の育成や地域活性化を図る。</p> <table border="1" data-bbox="427 1420 1414 1601"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>埋蔵文化財資料等の保存</td> <td>○収蔵室／約 984 m² ○作業室／約 74 m²</td> </tr> <tr> <td>地域の歴史・文化の発信と伝承</td> <td>○展示室／約 147 m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 開設年月日 2022年2月17日（木）</p>	機能	内容	埋蔵文化財資料等の保存	○収蔵室／約 984 m ² ○作業室／約 74 m ²	地域の歴史・文化の発信と伝承	○展示室／約 147 m ²	
機能	内容							
埋蔵文化財資料等の保存	○収蔵室／約 984 m ² ○作業室／約 74 m ²							
地域の歴史・文化の発信と伝承	○展示室／約 147 m ²							
事業内容 (2023年度)	<p>【文化財出土資料整理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業室において、市内から出土した埋蔵文化財の洗浄・接合・実測を実施し、その適切な保存に努めた。 <p>【展示公開事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫に保管されている文化財を公開する企画展を実施し、こどもをはじめとする市民が、歴史や文化を身近に感じられるように、文化財に触り、体験できるコーナーを設置するなどの工夫を行った。（年4回、来場者：914人） 							

	・地域の専門家を講師に迎え、こどもから大人までを対象としたワークショップを開催した。(1回、参加者：9名)																																
事業費	2021年度(整備費)：実績額 194,957千円 うち交付金額 97,479千円																																
重要業績 評価指標 (KPI)	①明石市立文化博物館入館者数(2025年度:50,000人) ②市内の指定・登録文化財の数(2025年度:70件) ③刊行物の発行数(2025年度:1,500部)																																
実績値	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(参考) 開始前</th> <th>1年目 (2021)</th> <th>2年目 (2022)</th> <th>3年目 (2023)</th> <th>4年目 (2024)</th> <th>5年目 (2025)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KPI①</td> <td>35,000</td> <td>-</td> <td>42,222</td> <td>44,489</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>KPI②</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>67</td> <td>69</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>KPI③</td> <td>1,300</td> <td>-</td> <td>1,582</td> <td>2,500</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		(参考) 開始前	1年目 (2021)	2年目 (2022)	3年目 (2023)	4年目 (2024)	5年目 (2025)	結果	KPI①	35,000	-	42,222	44,489			-	KPI②	66	-	67	69			-	KPI③	1,300	-	1,582	2,500			-
		(参考) 開始前	1年目 (2021)	2年目 (2022)	3年目 (2023)	4年目 (2024)	5年目 (2025)	結果																									
	KPI①	35,000	-	42,222	44,489			-																									
	KPI②	66	-	67	69			-																									
KPI③	1,300	-	1,582	2,500			-																										
※2022年2月に開設したため、KPIは2年目(2022年度)から計上。																																	
実績値の 増減理由	<p>KPI①：明石市立文化博物館入館者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズを踏まえ、工夫した展覧会を開催し、来館者の増加に努めたことにより、来館者が増加した。 <p>KPI②：市内の指定・登録文化財の数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補物件の掘り起こしや調査研究を実施し、その文化財的価値を着実に高めることで、指定文化財の数が増加した。 <p>KPI③：刊行物の発行数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における調査・研究結果をまとめた刊行物を3種類発行したことにより、発行冊数の増加につながった。 																																
事業効果	<p>【事業を実施した効果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な埋蔵文化財を劣化から守るとともに、収蔵庫に保管している文化財を展示する企画展を実施することで、地域の歴史・文化の普及・啓発が図られた。 ・文化財等の歴史資料を良好な環境で保存することで、体系的な調査・研究を行う体制が整い、新たな魅力の発掘や発信に役立った。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、展示室で文化財を分かりやすく紹介することで、子どもをはじめとする市民が地域の歴史・文化に興味を持ち、また、理解が深まるように努める。 																																
外部有識者 (あかしSDGs 推進審議会委員) の評価	<p>1 評価(該当する番号に○)</p> <p>① 本事業は、地方創生のために有効であった</p> <p>② 本事業は、地方創生のために有効とはいえなかった</p> <p>2 意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の増加は、地域の魅力や価値の向上に寄与すると考えられる。 ・地域の歴史を知る上で貴重な文化財について、適切な環境で保存できるとともに文化財の体系的な整備・活用にもつながっていると考えられる。展示方法や情報発信を工夫することで、文化博物館入館者数の増加につなげられたい。 ・教育機関や地域の専門家と連携した取組や企画を行うことで、当施設が地域の歴史・文化の発信と伝承を担う施設となるよう努めていただきたい。 																																